

NEWS LETTER

今月のハイライト

- ・ 飼料高騰への対処。
牧場が小さくてもできる方法とは？

2007年02月25日号 NO.62

乳搾りが楽しくなる実践会 会員限定情報誌(月刊) 乳搾りが楽しくなるニュースレター
発行所 RCO ライズコンサルティングオフィス 〒080-0318 北海道河東郡音更町緑陽台南区 1-66
文責 加藤隆 TEL 0155-32-3352 FAX 0155-32-3353 Email risecorp@nifty.com

LLPで飼料を共同購入。LLPとは？

お元気でしょうか？ 加藤隆です。
今月も、興味深い話題をご提供できたらと思います。

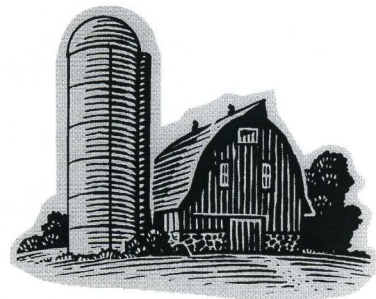
さて早速ですが、先月号では、**飼料高騰への対処**を書かせてもらいました。

その中で、ひとつの対処方法として、**中小規模な牧場でも買いエサ代を下げる方法がないだろうか？**と考えた時、「共同購入」という方法も積極的に考えていいのでは？ということを書かせてもらったのですが、

実は、複数の会員さんから、「加藤さんが窓口になってくれませんか？」という声も上がり、少し考えてみたのですが、やはり、どう考えても、残念ながら、現在の私には時間的な制約があり、難しいと…。

そこで思ったのが、共同購入についてのアドバイスは可能ですので、今日は、「**その取り組みを進めてみたい**」という人に、または、個人では、業者との交渉などの仕方がわからないという人たちに、その方法をお伝えしたいと思います。

ではまず、飼料高騰の背景をお互いに確認し合ってみましょう。



牧場が小さくても、大規模並みに、飼料購入のメリットを出す方法はないのだろうか？

NEWS LETTER

飼料高騰への対処。牧場が小さくてもできる方法とは？

現在の酪農業界は、まさに過渡期。過渡期とは、古いものから新しいものになる変革の途中のことを言いますが、現在の飼料穀物高騰、減産型の生乳計画生産、日豪EPA/FTA、さらにWTO交渉と、私たちの先行きにとって、心配なものばかりです。

特に、若い後継者、新規就農者の方々にとっては、経験のないことですから、不安や戸惑いを隠せないのは本音のようです。

しかし、不安に思うだけでは前に進みませんから、何かできないかを考えてみると、その答えは、やはりオーソドックスな、「今できることをやる」と言うことです。

「今、できることは何か？」と考えた時、私の場合の話ですが、**先のことを少しでも予測できた時**、その不安や戸惑いから解放されたことがあります。

そう考えると、遠い将来を予測することは、これはちょっと難しい作業ですが、ちょっと先のこと、要は、2年や3年先ぐらいは過去を振り返ることではできると思います。

つまり、歴史の流れと言いますか、サイクルをつかむことで、ある程度、近い将来の予測はできるんじゃないだろうか？と、思ったわけです。

ではその方法ですが、私たちは先人の教えとして、「**歴史は繰り返す**」「**流行は繰り返す**」という話を時としてよく聞きますが、実際に、その通りだと思います。

そして、それらは実に良く再現されているものです。